




教材・支援機器活用実践事例フォーマット(特別支援学校版)
* 全ての選択において、複数選択可

実践年度・タイトル		平成(26)年度 ----- 改造キーボードとスクリーンリーダを使ったパソコンの操作
授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input checked="" type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	ソフトの起動と墨字の入力
	授業の目標	スクリーンリーダを用いてエディターを立ち上げて、6点入力で墨字の文を書く。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	<input type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input checked="" type="checkbox"/> 「技能」 <input type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他()
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない ----- (1/2)年 (1/1)人 計2人
	対象の障害	<input checked="" type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子どもの課題 (特性・ニーズ)	<input type="checkbox"/> 見る <input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input checked="" type="checkbox"/> 読む <input checked="" type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 日常生活活動 <input type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 多動性-衝動性 <input type="checkbox"/> 社会性・コミュニケーション <input type="checkbox"/> 覚える・理解する <input type="checkbox"/> その他 ----- 知的障害を伴う全盲の生徒で、点字タイプライターで点字を入力することはできるが、スクリーンリーダを用いてパソコンを操作することが難しかった。また、点字の触読が遅く本などを自由に読むことが難しい。視覚障がい者用のエディターを用いて墨字入力したり、DAISY録音図書やインターネットの天気予報などを聞くことによって、本に興味を持たせたり身近な情報を手に入れるようにする。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	ハードウェア 操作に必要なないキートップをはずしたキーボード・Windowsパソコン  ソフト スクリーンリーダ(PC-Talker)・6点墨字入力ソフト(KTOS)・エディター(マイエディット) 高知システム
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) ----- 利用しているソフトウェアの操作に必要なとしないキーのキートップを抜くことで、間違っして押してしまうことを防ぎ、パソコン操作がより簡単で確実に行うことができる。また、本人の操作スキルの向上にしたがって、キーの数を増やし、より複雑な操作ができるようにする。
授業に授業展開支援	授業展開と画像 (授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。)	目的のソフトをWindowsキーや矢印キー・Enterキーを使って立ち上げる。 FDS JKLの6つのキーで6点入力することによって墨字を入力して、給食の献立やその日の予定などを入力した。 ソフトの起動やファイルの保存終了など操作の指導に関しては、一連の操作の最後のステップだけをまず自分でやって成功体験を得てから、その前のステップと逆順に成功体験を得ることによって、本人の学習意欲を維持向上させるようにした。  
効果・評価	子どもの様子や変容および授業の評価	点字を読むことに困難をもつ生徒にとって、点字タイプライターでの入力練習は意欲を維持するのが難しい場合がある。それに対してパソコンを用いると入力に対して音声によるフィードバックがあるため、効果的に指導ができ墨字を意欲的に入力することができた、さらにパソコンの場合、漢字変換や詳細読みが可能なので、漢字についても興味を持つようになった。また、カタカナは低い声で読み上げるので、かなにはカタカナとひらがなの違いがあることに気づくこともできた。 ただ改造キーボードの場合、点字タイプライタに比べてキーとキーとの間隔が狭くキータッチが柔らかいので、生徒によっては利用が難しい場合がある。そのような場合は、キーガードなどの利用も考慮する必要がある。